Popoki

Newsletter No.199 2022.3.25

ronniandpopoki(at)gmail.com
http://popoki.cruisejapan.com

3 月！花が咲き始めているけれど、ウクライナで市民が虐殺されていることを想うと、春を楽しむことが難しい。即時停戦！すべてのところでの戦争や暴力を今すぐにやめて！！！

Popoki's Hot News!

「ポーポキのマスクギャラリー」動画！
https://www.youtube.com/watch?v=BjT1ZjVUsm8&t=3s

「ポーポキのおうち」動画
https://www.youtube.com/watch?v=l8OCzg64oH8

「ねこのポーポキとピースぱくぱくをつくりましょう！」
https://youtu.be/FoT4pCWWRnQ

NEW！

ロニー・アレキサンダー編著
『ポーポキのマスクギャラリー ～コロナ禍でアートを通して日常の安心を探る～』神戸大学出版会　2022.2.22 発行

「一言の平和」コーナー
ポーポキのお友だちの**ゆうかにゃん**は、次の「一言の平和」を送ってくれました。
「笑顔で新たな一歩を踏み出そう！」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。
ポーポキのメール ronniandpopoki (at) gmail.com！

ピンクシャツデーにポーポキ登場

東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンターでは、いじめについて考え、いじめられている人と連帯する思いを表す「ピンクシャツデー」（2 月の最終水曜日）の取り組みに、ロニー・アレキサンダーさんの書かれた「ポーポキ、友情って、なに色？」を使わせていただきました。友情ってなに色で、どうしてそう思うのかを子どもたちに問いかけました。そしてみんなの選んだ色にメッセージを添えて素敵なカラフルなポーポキができあがりました。

その色を選んだ理由には、「こころはピンク色だし暖かいから」「ともだちと一緒にいると心が暖かくなるから暖かい色にした」「友達といると元気になるからパワーのある色にした」と様々でした。でもみんなが違う色を選んで、そしてそれが素敵なポーポキになることで、一人ひとり、みんな違っていいのだということを伝えられたと思います。

また同時にロビーでは、ロニーさんの「ポーポキのおはなし」の絵本を読み聞かせを加えた映像にして流しました。たくさんの子どもたちが熱心に見入っていました。ロビーには「ポーポキ！」という子どもたちのかわいい声が響いていました。『みんな、ちがっても楽しいね！』という思いを伝えるにはぴったりの絵本。ロニーさんどうも有難うございました。

東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター　沖　利柯

Piece of Peace ベルギーからの便り

まりえにゃん

ロニー先生のゼミで勉強をしてから、もう 10 年も経ちます。あれからいろいろなことがありました。もちろんそのひとつは、コロナの大流行です。私は毎週、 祖父母や両親とスカイプで話しをするのですが、そこで祖母はいつも「こんなに長く生きていると、いろんなことが起きるね～」とよく言っています。
今日は、私のベルギーでの生活について少しお話したいと思います。

まずみなさんが思っていらっしゃるのは、「なぜベルギーなのか？」ということだと思います。私のパートナーがベルギーのアントワープ出身なので、今ベルギーに住んでいます。その次によく聞かれる質問は、「パートナーとはどこで知り合ったの？」で、私たちはパレスチナで出会いました。話が逸れるので今日はここまで止めておきます。

アントワープのある通り、「Straat zonder Racisme」 ＝差別のない道と書いてある。

さて、ロシアがウクライナに侵攻して以来、私の生活では少し変化があります。そのひとつは、ロシアがベルギーの原子炉を攻撃した場合、放射性物質が飛ぶ恐れがあるため、ベルギー政府がヨウ素剤を配布することを決定したことです。ちなみにブリュッセルにはEU と NATO の本部があります。ベルギーの東側にはドイツがあり、その先にポーランド、ベラルーシ、ウクライナがあります。ベルギーの電力は原子力発電と化石燃料にほとんど依存していて、EU への化石燃料の約 40%はロシアから調達しています。

これを受けて先日、薬局でヨウ素剤（錠剤）を受け取りなさいというニュースを目にしたので近くの薬局へ行ってきました。この錠剤は身分証明書を提示すると、無料で受けとることができます。これは私が取りにいったヨウ素剤の箱です（写真）。ベルギーの原子炉が爆破されたら、すぐに飲まなければならないとのことです。日本の原子力緊急事態時用安定ヨウ素剤ときっと同じものだと思います。

原子炉

実は私たちの住んでいる町、アントワープからわずか北へ 30km のところに、ドゥール（Doel）という町がありそこに原子炉があります。ここは以前、政府がアントワープ港をこの辺りまで拡張しようと試み、住民に強制的に立ち退きを迫ったところで、いわゆるゴーストタウンと言われています。結局政府の計画は一時停止で住民たちが勝ったのですが、多くの人が「任意払い下げ金」を受け、立ち退いていってしまいました。

空き家の窓には金属のシャッターがはめられている。

これ以外にどうしてもしっくりこないことが最近あって、それは、誰かを助けるときや緊急事態には必ず差別が多くなることです。例えば、非白人やウクライナ人以外、つまりアフリカ系や南アジア系住民が、ウクライナ国外に退避しようとすると差別的な扱いを受けるということです。端的に言うと、ウクライナ人が優先されているということです。これは国連の難民機関がいくつもの事例を今確認しています。そして、私は普段、イラク、アフガニスタン、トルコからヨーロッパに逃れてきたクルド人を、応急処置のアシスタントとして助ける活動をしているのですが、最近クルド人やアフガニスタン難民が受けている注目よりも、ウクライナ難民が受ける注目の方が断然大きいことがわかります。例えば、日本政府もウクライナの人たちの難民手続きをより一層早く行うと決定しましたよね。これは素晴らしいことだと思いますが、他の難民に対しての手続きはどうなってるのでしょうか？？アフガン難民のことはもう忘れてしまってるんじゃないの？という気になってしまいます。

こういうところでテントの中に住んでいます。特に冬の夜は非常に寒くなる。

私はベルギーで難民問題に関わる活動をよくしているので、ボランタリズムのトレンドが変わっていくことを肌で感じるときがあります。ウクライナの人々のために、つい先日、同僚と一緒に会社で募金を募りました。寄付金は無事ブリュッセルのウクライナ大使館に送りました。近所に咲いた桜やアーモンド（どっちかわからない）の木を見ていると、なぜかやる気が出てくるので、これからも変わらず自分でできることを続けていこうと思っています。桜（アーモンド？）きれいでしょ？

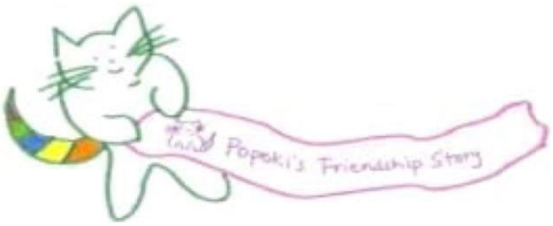
ベルギーからの短い話を楽しんでいただけていれば幸いです。茉莉絵

一緒に住んでいるうさぎ

【おはなしサロン再建募金へご協力ください】

3 月 16 日に東北地方に発生した地震でポーポキの友だちのおはなしころりんのサロンに被害が出てしまいました。地震の揺れで 2 階の水道の蛇口に力が加わり、水が一晩中でて、2 階の一部と 1 階に水が流れ、本や紙芝居や本棚などが濡れてしまいました。今、天井と壁と床を大工さんが修繕しているところです。活動資金もぎりぎりでやっているので、修繕代や運営費に困って、募金活動で皆さんからのご協力をお願いしています。どうぞ、よろしくお願いします。

【専用募金口座】
〇ゆうちょ銀行
口座番号:02260-8-114405
名義:江刺由紀子
〇ゆうちょ銀行以外からの振込先
金融機関コード:9900
店番:229
預金種目:当座
店名:二二九店
口座番号:02260-8-0114405



Popoki's Interview

ガビにゃん

＊新しいシリーズとして、いろいろな場所でパンデミックを体験しているポーポキの友だちに状況を聞くことにしています。今回は、がびにゃんがインタビューをしてくれました。

こんにちは！ 私はガビです。 エルサルバドル国立大学で勉強している妹にインタビューしました。妹は大学 3 年生の 2020 年 3 月にオンライン授業を始めさせられました。（学士号は通常エルサルバドルで 5 年間続きます）。COVID-19 パンデミック中にオンライン学習について妹の意見を聞きました。

1. Q//自己紹介お願いします？
A//こんにちは、私はタティアナ・アルドンです。22 歳で、エルサルバドル大学で生物学の学士号を目指して、勉強しています 。

2. Q//パンデミックが始まる前、そしてエルサルバドルの隔離が宣言される前の、生活はどうでしたか？
A//毎日大学に通っていて、授業の後で友達と遊んだりしました。また、勉強の方では、研究室で実験して、フィールドトリップにも行きました。自分の専攻に大きな期待を寄せていたので、将来、自分はどんな仕事をするのか、嬉しくてワクワクしていました。

3. Q// パンデミックが始まったときの政府の対応はどうでしたか？2 年後の今はどうですか？
A// 最初は、大統領が 21 日間の強制隔離を宣言しましたが、これは感染者数が増えるにつれて延長され、ほぼ 5 か月続きました。また、スーパーに行くときや薬を買うとき以外は家を出られない、他の理由で家を出た場合は逮捕されて収容所に連れて行かれるなどの厳しい措置が取られました。隔離が解除された後、コロナウイルスの拡散を封じ込める努力はあまり行われず、政府は人々にマスクの着用を要求することをやめ、群衆はもはや封じ込められなくなり、すべての観光地が再開されました。

4. Q//パンデミックにより、あなたの人生はどのように変わりましたか？
A// 主なものはバイオセキュリティ対策だと思います。外出するときにマスクを着用し、常にアルコール消毒をしないといけません。また、対面授業がなくなり、2 年以上クラスメートと会えないだけでなく、混雑のために公共の場所に頻繁に出かけることができなくなりました。 また、隔離のせいで、今まで経験したことのない不安を抱えていると思います。

5.　　Q// パンデミックはあなたの学生生活をどのように変えましたか？
A//対面授業を無期限に中断することに加えて、大学は私たちの専攻にとって最も重要な実験室やフィールドトリップを中断したため、それはひどく悪影響を及ぼしました。 オンライン授業は不十分で、一部の教授は生徒を助けるために最善を尽くしていません。この組み合わせにより、私は十分に学んでいないと感じ、専攻に満足できなくなりました。これで、卒業しても就職できず、何か他のことを勉強しなければならないと思います。

6.　　Q// オンライン授業についてどう思いますか？
A// 私は生物学を勉強しています。専攻は非常に実用的であるため、オンライン授業は十分ではありません。多くの実験を行う必要があります。そこから、フィールドトリップや実験室が必要になります。 また、何人かの教授は頑張らず、学生に独学をさせているような気がします。

7.　　Q//パンデミック前の生活で最も恋しいことは何ですか？
A// 自分の自由が恋しいです。毎日大学に行ったり、友達と外食したり、授業が終わって少し話し続けたり、一人でモールに行ったりすることもできました。

8.　　Q//この現代に恐れていることがありますか？

A//決して正常に戻らないということを一番恐れています。 また、大学での勉強はもうすぐ終わり、授業を受けたり、クラスメートに会ったりすることはもうありません。 家族が病気になるか、私が再びCOVIDに感染する可能性があると考えます。

9.　　Q// パンデミックが終わったらどうしますか？
A// メインは、研究室に戻って実験し、行けなかったフィールドトリップに行くことだと思います。 そして、友達と遊びに行きたいです。

10.　　Q// パンデミックの影響を受けた他の学生に言いたいことがありますか。
A// オンラインクラスはそれほど楽しくなくても、自分で勉強することを楽しくする方法を見つけることができます。 そして、「普通」の大学の経験をしたいのなら、将来には何か他の専攻を勉強することができます。学ぶのに遅すぎることはありません。

11.　　Q//将来に何を望みますか？
A// 感染したり、他人に感染させたりすることを恐れずに、通常の状態に戻り、別の専攻を勉強し、私を自慢できる仕事を見つけたいです。

Cr.:デジタル新聞「ElFaro」22/03/20。 3 月にエルサルバドルで最初の隔離が宣言された後、軍と国家の警察がそれを確実にする責任を負った。

Cr.: デジタル新聞「ElFaro」2021 年 1 月 17 日。 隔離が宣言されたとき、バスの所有者と運転手は、クライアントが乗車中に距離を保つことを確認していましたが、1 年も経たないうち

Cr.:デジタル新聞「DiarioElSalvador」2020 年 9 月 12 日。 隔離が宣言された後、一部のベンダーやクライアントがバイオセキュリティ対策に従わなかった場合でも、ストリートマーケットは開かれ続けました。

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 167

今月のテーマは、腹筋を鍛えましょう！

１．まず、いつものように、美しく座りましょう。
２．では、あお向けになりましょう。左足をまっすぐ上にあげてから頭や上半身を上げて、右手で左足をタッチ。１０回繰り返してから反対側も！
３．次は、手も足もまっすぐ上げましょう。まず、頭や肩を上げて、下ろす。次にお尻を上げて、下ろす。１０回繰り返してね。
４．最後は両足をのばして寝ころんだまま、両足を同時に上げることができますか？難しいようだったら、片足ずつ上げてみましょう。下ろすときは床まで下ろさないでね。１０回！足が別々だったら、それぞれが１０回！
５．できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！

お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低 3 分間練習しましょうね。

ご一緒にいかが？

次回のポー会：2022 年３月　２８日（予定）　Zoom 会議 19:00～*

***リンクが毎回同じ。必要な方はメールでポーポキに聞いてくださいね**

次々回のポー会：　もうすぐに決まる予定

・5 月？読み聞かせイベント？
・8 月　核を考える
・10 月？　平和と健康ワークショップ

ポーポキの友だちからのおすすめの本等

・『りょうくんのすすむみち―学校に行けない君たちへ―』作・絵　かねしろ　みゆき、学研 2019 年。
・大槌町『生きる証 岩手県大槌町 東日本大震災記録誌』監修:大槌町教育委員会ほか。2019.7
・アレキサンダー　ロニー＆桂木聡子（2020）「被災体験後「今」を表現する：絵から読み取れる被災ナラティブ」『国際協力論集』27(2)、17－32（2020 年 1 月発行）http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail
・Alexander, Ronni (2021) “The Meaning of Art in Disaster Support: Stories from the Popoki Peace Project,” *Journal of International Cooperation Studies*, 28(2), 1-22. http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail
・Alexander, Ronni (2022) “Art-stories as reflection: Learning from the Popoki Peace Project,” *Journal of International Cooperation Studies*, 29(2), 27-51. http://www.research.kobe-u.ac.jp/gsics-publication/jics/

全編日英対照

神戸大学出版会

ポーポキのマスクギャラリー

～コロナ禍でアートを通して日常の安心を探る～

編著・絵　ロニー・アレキサンダー

Written, edited and illustrated by Ronni Alexander

A5判・192ページ
定価　2,420円（税込）

【本書の内容】

前書き	**Prologue**
第一部：ことばの旅	**Part I: A Word Journey**
「ことばの旅」への誘い	An Invitation to take a Word Journey
第二部：「お絵描き」の旅	**Part II: A Drawing Journey**
① 物語を描くということ	The Meaning of Drawing Stories
② ぐちゃぐちゃ	All Messed Up
③ 色たち	Colors
④ いかなきゃ（桂木聡子）	I've Gotta Go (Katsuragi Satoko)
⑤ 2021.1.17 に想う	Thoughts on 17 January 2021
⑥ 乱れ	Confusion
⑦ プール	Pool
第三部：「ふりかえり」の旅	**Part III: A Journey of Reflection**
「ふりかえり」の旅	A Journey of Reflection

① ポーポキのマスクギャラリー ― 基盤となる日本人の伝統的思考法を考える―（高田哲）
Popoki's Mask Gallery — A consideration based on traditional Japanese ways of thinking (Takada Satoshi)

② 対談：アナ・アガサンゲロウとロニー・アレキサンダー（世界国際関係学会年次研究大会2021年）
Conversation: Anna Agathangelou and Ronni Alexander
(International Studies Association Annual Conference 2021)

③ ポーポキの旅: ポーポキのマスクギャラリーができるまでの道のり（ロニー・アレキサンダー）
Popoki's Journey: How Popoki's mask gallery came to be (Ronni Alexander)

後書き：新たな旅	**Epilogue: A New Journey**
今度はあなた	Now it is Your Turn

本文より抜粋

発行：神戸大学出版会　https://www.org.kobe-u.ac.jp/kupress/
神戸市灘区六甲台町2-1　神戸大学社会科学系図書館内　Tel. 078-803-7315　Fax. 078-361-7320

発売：神戸新聞総合出版センター
神戸市中央区東川崎町1丁目5-7　神戸情報文化ビル9F　Tel. 078-362-7138　Fax. 078-361-7552

Popoki in Print ポーポキ通信のバックナンバーhttp://popoki.cruisejapan.com/archives.html

- アレキサンダー＆桂木 「被災体験後「今」を表現する：絵から読み取れる被災ナラティブ」国際協力論集 27(2) 2020.2 pp.17-32. http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail
- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのまど 52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange http://www.interpeople.or.jp
- **関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ（WEB版の事例集）にポーポキ！http://www.interpeople.or.jp**
- **『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』（貝原加奈 2014.4.25 28 面）**
- **「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』（2013.8.23 朝刊 地域経済 8 面）**
- **「原爆の熱線で焼き付いた一 ″人影″再現、非核誓う」『神戸新聞』（2013.8.7 朝刊 22 面）**
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひと人抄」『読売新聞』（2013.2.16 夕刊 4 面）
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1 面)
- R. Alexander. "Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War." *International Feminist Journal of Politics.* Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒につくり出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日［子どもと守る9条の会］
- 「布に希望 60 メートル」 阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29 面)
- 「平和祈る声まとめ本に」 斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22 面)
- K. Wada. "Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?" *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. "The Art of Healing" (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) "The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima.* Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- **「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1**
- No.1「『ポーポキ、平和って、なに色？』の背後にあるもの」（連載）とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ：こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- ［ヒロシマと世界： 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え］ **http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja**
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 'Heart Lines' 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- "Human Rights, Popoki and Bare Life." *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (http://www.infactispax.org/journal/)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』（日本汎太平洋東南アジア婦人協会） No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- **区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。**
- **「『ポーポキ、友情って、なに色？』」「私のいち押し」 奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 （関西外大通信）**
- **「友情って・・・考える絵本」 朝日新聞 「生活」(阿久沢悦子） 2009.7.2**
- **「友情を考えて~人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11**
- **「カティング・エッジ」 第 35 号 2009.6 （北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」）「新刊紹介：『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック 2」（レベッカ・ジェニスン） p.3**
- **「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」（斎藤雅志） 神戸新聞 2009.4.21**
- **「ポーポキ、平和ってなに色？」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2**
- **「ポーポキ、ゴミってなに色？」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2**
- **「友だちになってくれませんか？」 RST／ALN 2009.2.22**
- **ラジオ番組の中のポーポキ！！！プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 http://www.kizzna.fm/ 録音番組。（リンクは現在無効）**
- **やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。 詳しくは： blrhyg@osk3.3web.ne.jp**
- **「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」 エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 （アジア女性交流・研究フォーラム）**
- **「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」 Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1**
- **神戸新聞 「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」 2008.10.8. 10**

私にとってポーポキ

ろーれんにゃん

ポーポキを知ってから数年になります。あまりにもかわいくて、おとぎ話のキャラクターだと思っていました。付き合っていくなかで、彼の外見は彼のすべてではないということがわかってきました。困難な時は、ポーポキがいつもそこにいて、みんなを慰めます。過去 2 年間、家をでることができず、パンデミックのために家にいることにしていました。このことは、私が自分自身を新たに理解したことを意味します。私は非常に強く、それでいて同時に壊れやすいところがあります。日常生活での悩みは非常に多く、一日中もどしつづけて、熱が出た場合は、自分でしっかりして医者に行く必要があります。また、家に帰った後、薬を服用するために最も簡単な食べ物を作る必要があります。やる気を起こさせるためのあらゆる努力にもかかわらず、全然エネルギーを感じることができません。それにもかかわらず、私は自分の世話をしなければならないので、時々泣くことが、自分を助けることになりました。落ち込んで世界が終わりそうな気がする中、たくさん読んだり描いたりしました。ポーポキだけでなく、ポーポキが一日中、私と一緒にいました。彼の友達もいました。彼らの話は私に穏やかな友情と慰めを与えてくれました、そして誰も私に何かを言ったり修正したりすることを強制しませんでした、それは私が必要としたすべてでした。ポーポキと彼の友達全員を知っているのは最高でした。

ポーポキ･ピース･プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース･ブック1』(エピック、2007年)、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース･ブック2』(エピック、2009年)、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース･ブック 3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011 年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語　東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を 2012 年 1 月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース･ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース･ブックの翻訳(『ピース･ブック1』は既に10ヵ国語に翻訳されている)、『ポーポキのピース･ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさりたい方はぜひご参加ください。(ポー会の開催については、ポーポキ通信の「ご一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。)

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いいたいと存じます。本の購入･寄付･本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.com へ お問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック(TEL: 078-241-7561･FAX: 078-241-1918)へどうぞ。

ポーポキ･ピース･プロジェクト　popokipeace(at)gmail.com

http://popoki.cruisejapan.com
郵便振替口座番号　00920－4－280350
ゆうちょ銀行　店番099　店名099店　当座　口座番号0280350
口座名　　ポーポキ･ピース･プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円　何口でも結構です。

THANK YOU FROM POPOKI!